

経済・経営学研究科 地域・国際経済政策専攻

○ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、各授業科目、アドミッション・ポリシーの対応表

ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	各授業科目	アドミッション・ポリシー
① 経済学に基礎を置いた専門的知識を身につけている。	① 経済学とその応用分野の理論的基礎を修得するための講義科目の充実	経済学基礎、地域公共政策、国際経済の領域の講義科目:経済理論、統計・計量Ⅰ、国際経済特論など(詳細はシラバスに記載)	① 自らの専攻分野において基本となる理論の知識、また外国語で書かれた文献を読む力を有している。
② 理論分析、実証分析、制度分析、歴史分析など、自らの研究課題を適切に分析する手法を修得している。			② より高度な専門知識と分析手法を修得するための基礎を有している。
③ 学術的な見地から自らの研究上の問いを定めることができる。	② ゼミナール方式による少人数のきめ細やかな指導の徹底。専攻演習を通じて修士論文の指導を行う。研究上の問いを設定し、丁寧に先行研究にあたり自らの研究の位置づけと貢献を明確にする。研究計画を立案してその計画に沿って分析を行い、修士論文として成果をまとめる。	専攻演習:専攻演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ(詳細はシラバスに記載)	③ 自らの研究課題を追究するために、粘り強く研究を続け、何らかの知見を得ようとする意欲がある。
④ 粘り強く研究を継続し、修士論文として研究の成果をまとめる力を有している。			
⑤ 地域社会、国際社会および行政などにおける現場の課題を解決するために、経済の諸理論に基づいてより望ましい経済政策を判断し、政策形成に貢献することができる。	③ ワークショップ方式による実践教育の重視。行政に携わる人などをゲストスピーカーとして招いた地域・国際経済に関するケーススタディなど、地域の需要に合わせた特色あるかつ実践的の教育を行う。	ワークショップ、特別講義:ワークショップ(地方行政論)、ワークショップ(地域開発)、経済・経営学特別講義Ⅰ・Ⅱ(詳細はシラバスに記載)	④ 地域社会、国際社会および行政などに関わる領域において明確な問題意識を有している。
	④ 学修成果の評価は、科目毎に成績評価の方法を設定し、シラバスに明示する。		

経営学専攻

○ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、各授業科目、アドミッション・ポリシーの対応表

ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	各授業科目	アドミッション・ポリシー
①経営学に基礎を置いた専門的知識を身につけている。	①経営各分野の理論的基礎を修得するための講義科目の充実	マネジメント、企業会計・法務、国際経営の領域の講義科目：現代経営学、会計学特論、税法など（詳細はシラバスに記載）	①自らの専攻分野において基本となる理論の知識、また外国語で書かれた文献を読む力を有している。
②理論分析、実証分析、制度分析、歴史分析など、自らの研究課題を適切に分析する手法を修得している。			②より高度な専門知識と分析手法を修得するための基礎を有している。
③学術的な見地から自らの研究上の問いを定めることができる。	②ゼミナール方式による少人数のきめ細やかな指導の徹底。専攻演習を通じて修士論文の指導を行う。研究上の問いを設定し、丁寧に先行研究にあたり自らの研究の位置づけと貢献を明確にする。研究計画を立案してその計画に沿って分析を行い、修士論文として成果をまとめる。	専攻演習：専攻演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（詳細はシラバスに記載）	③自らの研究課題を追究するために、粘り強く研究を続け、何らかの知見を得ようとする意欲がある。
④粘り強く研究を継続し、修士論文として研究の成果をまとめる力を有している。			
⑤地域社会、国際社会における企業経営と管理に関する現場の課題を解決するために、経営の諸理論に基づく専門的知識・能力を実践することができる。	③ワークショップ方式による実践教育の重視。企業経営者などをゲストスピーカーとして招いた経営の理論と実践に関するケーススタディなど、地域の需要に合わせた特色あるかつ実践的の教育を行う。	ワークショップ、ケース分析、実践論、特別講義：ワークショップ（ベンチャー企業・起業（創業）論）、企業経営のためのケース分析、実践コンサルティング論、経済・経営学特別講義Ⅰ・Ⅱ（詳細はシラバスに記載）	④地域社会、国際社会における企業の経営と管理に関わる領域において明確な問題意識を有している。
	④学修成果の評価は、科目毎に成績評価の方法を設定し、シラバスに明示する。		

経済研究専攻

○ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、各授業科目、アドミッション・ポリシーの対応表

ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	各授業科目	アドミッション・ポリシー
①自らの専攻分野に関する豊かな学識を身につけている。	①理論に裏付けられた高度な実践的研究 経済政策、地域経営、経営戦略やマーケティング、会計、国際経済等の分野について、経済学や経営学の専門分野の理論に裏付けられた地域の発展に資する実践的研究を行う。	応用経済学研究、地域経営研究、経営管理研究、国際経済研究の各領域の科目：応用（マクロ・ミクロ）経済学特別演習Ⅰ、財政・文化経済学特別演習、現代経営学特別演習、国際経済特別演習など （詳細はシラバスに記載）	①自らの専攻分野に関する高度な理論的知識とそれに基づく分析手法、また読解力と文章力を含む外国語の運用力を有している。
②経済理論と政策、経営理論と実践を一体化した質の高い学術研究を推進するための分析手法を修得している。	②ゼミナール方式による少人数のきめ細やかな指導の徹底。		②地域社会、国際社会、行政、企業経営と管理などに関わる領域において、学術研究に資する課題を有している。
③学術的な見地から独創性に富む研究課題を定めることができる。	特別演習を通じて博士論文の指導を行う。先行研究の精査を通じて独創的な研究課題を設定し、適切な手法を用いて質の高い分析を行い、その成果を学術論文として公表する。最終的には自らの研究の成果を博士論文として体系的にまとめる。		③自らの研究成果を論文や学会報告などの形で継続的に公表し、地域社会、国際社会、行政および企業などの現場に還元していく意欲がある。
④粘り強く研究を遂行し、研究の成果を学術論文や学会報告などの形で継続的に公表しうる力、かつそれらを博士論文として体系的にまとめる力を有している。	③学修成果の評価は、科目毎に成績評価の方法を設定し、シラバスに明示する。		
⑤修得した高度な専門知識と分析手法、政策形成能力、経営的な実践力を、地域社会、国際社会、行政および企業などの現場の課題を解決するために発揮することができる。			